

横浜市中小企業振興基本条例に基づく 平成 28 年度の取り組み状況について

1 中小企業振興施策の実施状況について 2

【報告書掲載事業】 3 事業／全体 75 事業

番号	事業名	掲載頁
70	創造的ビジネス・コーディネート事業	2 (冊子 46)
71	ヨコハマ・グッズ「横濱 001」育成支援事業	2 (冊子 47)
72	MICE 誘致・開催支援事業 (MICE 開催応援プラン)	3 (冊子 47)

2 物品及び委託契約における市内中小企業者の受注機会の増大
について 4

1. 中小企業振興施策の実施状況について

70

創造的ビジネス・コーディネート事業

(千円)

28決算額	28,932
27決算額	27,124

<事業・取組のねらいと概要>

(文化観光局創造都市推進課)

市内中小企業の技術力とクリエイターのアイデアを掛けあわせた商品開発・販路開拓をコーディネートすることで、企業とクリエイターによる新たなビジネス機会を創出し、創造的産業の振興を進めました。

【28年度の具体的な実績・成果、市内企業の声等】

市内中小企業(39社)へのヒアリングを行い、事業への新規参画を促すとともに商品開発に向けたアドバイスを行いました。

そのうち商品開発まで至った6社(6商品)とともに中国・台湾・ドイツの展示会へ出展し、国内での営業も行った結果、国内外のバイヤーから多数の引合いがあり、一部商品は販売が決定しました。

<改善の取組>

事業への参画促進、販路開拓機会提供が課題であったことから、相談窓口担当者を置き、市内企業と密に連絡をとることで事業周知及び参画促進を行いました。また、3つの海外展示会へ出展し、各国のバイヤーにPRするなど、販路開拓の機会提供を強化しました。

<課題と29年度以降の対応>

本事業では、開発した商品を最終的に販売につなげていくことが重要であり、具体的な販路を見据えた販路開拓機会を提供することが課題となります。

そこで、展示会への継続出展やテスト販売の実施により販路開拓の機会提供に力を入れるとともに、商品開発から販売までの成功事例を積み上げることで、さらなる企業・クリエイターの事業参画を促し、双方にとって新たなビジネス機会を創出する好循環を生み出します。

71

ヨコハマ・グッズ「横濱001」育成支援事業

(千円)

28決算額	3,825
27決算額	3,804

<事業・取組のねらいと概要>

(文化観光局観光振興課)

横浜ならではのおみやげ等の認定をしている“ヨコハマ・グッズ「横濱001」”のブランド育成を支援しています。“ヨコハマ・グッズ「横濱001」”の会員の多くは市内中小企業であり、企業単独では困難な販路拡大への支援や商品PRの機会を創出することで、中小企業支援に取り組んでいます。

【28年度の具体的な実績・成果、市内企業の声等】

○会員企業数

主な指標・実績	17期(29~30年度)	16期(27~28年度)
会員企業数 (うち中小企業数)	100社(84社)	103社(85社)

○販路拡大支援及びPRの実施状況

- ・宮城県多賀城跡あやめまつり(6月)、はこだてグルメサーカス(9月)、群馬県昭和の秋まつり(10月)など、各地で出展、販売、PR
- ・東急東横線窓上ポスター掲示(8/17~9/20)
- ・販路拡大商談会への参加(会員企業12社)
- ・TVK「ハマナビ」、新聞、WEB、観光情報紙等でPR

<改善の取組>

- ・販促キャンペーンの実施や、英語訳付のリーフレット作成など、認知度向上に向けた新たなプロモーションを実施しました。

<課題と29年度以降の対応>

横浜のおみやげブランドであるヨコハマ・グッズ「横濱001」の認知度やブランド価値のより一層の向上が課題です。

28年度に実施した第17期認定審査会では、191品が認定商品となり、市内産の農産物を使った商品が市長賞に選ばれました。引き続き、更なるブランド価値の向上に向けて、商品開発や販路拡大、効果的なPRを支援していきます。

MICE 誘致・開催支援事業（MICE 開催応援プラン）

(千円)

28決算額	17,115
27決算額	21,358

<事業・取組のねらいと概要>

(文化観光局MICE振興課)

市内関連事業者を活用したMICEの誘致・開催支援及び受入環境の向上を目的とした事業です。

会議開催に伴う支援メニューを市内関連事業者に発注することで、市内経済の振興に寄与するとともに、横浜の特色を活かしたMICE拠点都市の確立に向けた施策の一つとして推進しました。

【28年度の具体的な実績・成果、市内企業の声等】

市内で開催されるMICEに対して、市内中小企業等から調達した物品やサービスを現物で支給する支援制度を実施しました。(支援件数: 49件)

<改善の取組>

MICE開催応援プランの周知のため、市内の大学や研究機関における説明会やPR活動、旅行会社・MICE主催者などを対象とした説明会を開催し、市内中小企業等への物品調達を図りました。

- ・大学説明会・PR活動(10回)
- ・研究機関訪問(14回)
- ・横浜MICE説明会(28年9月13日、17社29名)
- ・横濱山下MICE招待会(28年4月14日、12社50名)

<課題と29年度以降の対応>

○横浜MICE開催応援プラン

主催者への助成額を引き上げ、市内中小企業への物品調達拡大を図ります。引き続き、市内の大学や研究機関を対象に、大学説明会の開催や個別訪問による説明の機会を増やしPRを強化します。

2 物品及び委託契約における市内中小企業者の受注機会の増大について

(1) 平成28年度の受注機会増大に向けた取組

物品の調達及び委託業務の発注にあたっては、市内経済の活性化の観点から、従来から市内業者への優先発注を基本方針とし、市内業者の入札参加機会の確保のため、専門事業者への分離発注やコスト面を考慮したうえでの分割発注を進めてきました。

平成28年度の市内中小企業者への発注状況については、構成比率(合計)として、件数で92.6%、金額で50.5%となっています。前年度からの増減では、件数は0.8ポイントの減少、金額は28.2ポイントの減少となっています。減少の理由は、アジア開発銀行年次総会横浜開催推進事業の広告業務委託で、履行可能な市内業者が少なく、競争性の観点から市外業者を含めた入札の結果、市外業者が落札したことによるものです。

(2) 今後の受注機会増大に向けた取組の方向性

物品の調達及び委託業務の発注にあたっては、今後も有資格者名簿により対象業者の所在区分及び企業規模の確認の徹底や創造的産業振興を通じた積極的な市内のアーティスト・クリエイターの活用などにより、一層市内中小企業者への優先発注を図るとともに、適切に分離・分割するなど受注機会の拡大を図ります。

また、やむを得ず市内中小企業者以外へ発注する場合は、引き続き当該業者を選定する理由を発注伺に明記するとともに、理由の確認を徹底します。

市内中小企業者への発注状況(文化観光局契約分)

区 分	契約実績(単独随意契約及び大規模契約を除く)									単独随意契約及び大規模契約の合計	
	市内中小企業契約実績							件数	金額	件数	金額
	件数	構成比率	前年度からの増減	金額	構成比率	前年度からの増減					
平成28年度	工事	0	-	-	0	-	-	0	0	0	0
	物品	122	98.4	2.6	7,517	98.2	4.8	124	7,656	27	6,758
	委託	92	86.0	▲ 2.7	51,423	47.2	▲ 29.2	107	109,014	85	395,544
	合計	214	92.6	▲ 0.8	58,940	50.5	▲ 28.2	231	116,670	112	402,302
平成27年度	工事	0	-	-	0	-	-	0	0	0	0
	物品	114	95.8	▲ 3.4	5,202	93.4	▲ 6.4	119	5,570	18	76,465
	委託	55	88.7	3.8	28,047	76.4	20.5	62	36,696	95	545,109
	合計	169	93.4	▲ 0.1	33,249	78.7	19.2	181	42,266	113	621,574

※ 契約実績金額については、変更契約に伴う増減を含んだものとなっています。

※ 「構成比率」は、それぞれの数値(件数または金額)が契約実績(単独随意契約及び大規模契約を除く)に占める割合です。

※ 各項目で四捨五入をしているため、合計値と一致しない場合があります。

※ 「契約実績(単独随意契約及び大規模契約を除く)」は、経済産業省が行っている「官公需契約実績等の調査」と同様に、競争の余地がない「単独随意契約」及び中小企業者の参入の余地が少なく入札参加者を市内事業者に限定できない「大規模契約(政府調達協定(WTO)対象契約)」を除いたものです。

【参考資料】

市内中小企業者への発注状況(財政局契約部契約締結分)

区 分		契約実績(単独随意契約及び大規模契約を除く)								単独随意契約及び 大規模契約の合計	
		市内中小企業契約実績									
		件数	構成比率	前年度か らの増減	金 額	構成比率	前年度か らの増減	件数	金 額		
平成 28 年度	工事	0	-	-	0	-	-	0	0	0	0
	物品	10	71.4	▲ 18.1	7,782	59.2	▲ 33.1	14	13,148	2	4,668
	委託	1	100.0	50.0	2,916	100.0	54.7	1	2,916	1	1,113
	合計	11	73.3	▲ 12.4	10,698	66.6	▲ 17.8	15	16,064	3	5,781
平成 27 年度	工事	0	-	-	0	-	-	0	0	0	0
	物品	17	89.5	1.0	29,354	92.3	5.2	19	31,810	2	1,081
	委託	1	50.0	16.7	2,900	45.3	▲ 21.1	2	6,405	0	0
	合計	18	85.7	2.9	32,254	84.4	▲ 0.8	21	38,215	2	1,081

※ 契約実績金額については、変更契約に伴う増減を含んだものとなっています。

※ 「構成比率」は、それぞれの数値(件数または金額)が契約実績(単独随意契約及び大規模契約を除く)に占める割合です。

※ 各項目で四捨五入をしているため、合計値と一致しない場合があります。

※ 「契約実績(単独随意契約及び大規模契約を除く)」は、経済産業省が行っている「官公需契約実績等の調査」と同様に、競争の余地がない「単独随意契約」及び中小企業者の参入の余地が少なく入札参加者を市内事業者に限定できない「大規模契約(政府調達協定(WTO)対象契約)」を除いたものです。